

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 14 日作成)

委員会名	耐震性能小委員会	主 査 名：加藤史郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：坂 壽二
設 置 期 間	2000 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	空間構造の耐震設計法の現状と問題点を整理し、空間構造の耐震設計法をまとめることを目的とする。空間骨組構造小委員会と合同で、「空間構造動的挙動と耐震設計」編集出版ならびに「ラチス構造の座屈と座屈強度」の研究成果の収集とまとめ方を討議する。	
委員構成 (委員名(所属))	加藤史郎(豊橋技術科学大学), 藤本益美(大阪市立大学), 山田聖志(豊橋技術科学大学), 青木義男, (日本大学), 石川浩一郎(福井大学), 今井克彦(大阪大学), 小田憲史(太陽工業), 國枝治郎, 立道郁生(前田建設工業), 檜山裕二郎(住軽日軽エンジニアリング), 日置興一郎, 細澤治(大成建設), 村田賢(名城大学), 元結正次郎(東京工業大学), 諸岡繁洋(京都大学) 以上 15 名	
設置 WG (WG 名: 目的)	シェル空間構造における非構造要素の損傷に関する調査研究 WG: (シェル空間構造における非構造要素の地震被害例の調査, 非構造材の設計施工の現状情報収集と非構造部材の崩壊メカニズムの研究)	
2003 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 3 月 27 日(18 名), 2003 年 5 月 29 日(16 名) 2003 年 10 月 10 日(13 名), 2004 年 1 月 29 日(16 名)
得られた成果	(成果の具体的内容, 成果の学術的・技術的・社会的価値, ホームページ等での公開の有無) 空間構造の耐震設計法に関して, 空間骨組構造小委員会と合同で, 「空間構造の動的挙動と耐震設計」の編集出版作業を進め, 目次と概要を決定し, 粗原稿の作成をほぼ完了した。 「ラチスシェルの座屈と座屈強度」の目次案を整理した。
	委員会 HP アドレス:
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 空間構造の耐震設計法に関する研究成果をまとめ, 「空間構造の動的挙動と耐震設計」の原稿案を作成し, 出版スケジュールを定めた。
その他評価すべき事項	